

J TRUST LETTER

第43期 株主通信

2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

証券コード：8508



企業データ (2019年3月31日現在)

会社の概要

商号	Jトラスト株式会社
資本金	547億60百万円
設立	1977年3月
〒105-0001	
本社所在地	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン
電話番号	03-4330-9100(代表)
事業内容	ホールディング業務
連結従業員	3,324名

役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長 最高執行役員	藤澤 信義
代表取締役専務 執行役員	千葉 信育
専務取締役 執行役員	足立 伸
常務取締役 執行役員 財務部長	熱田 龍一
取締役 執行役員 経理部門担当	常陸 泰司
取締役 執行役員 経営企画部長 兼 総務部長	西川 幸宏
取締役 執行役員 監査室長	飯森 義英
取締役 執行役員 内部統制部長	井口 文雄
取締役(社外)	五十嵐 紀男
取締役(社外)	水田 龍二
取締役(社外)	金子 正憲
取締役(社外)	石坂 匡身
常勤監査役(社外)	山根 秀樹
監査役	井上 允人
監査役(社外)	小島 高明

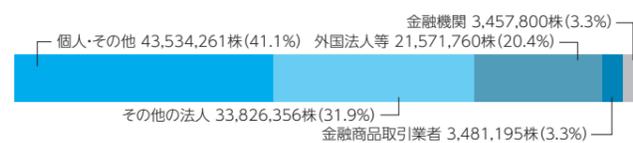
株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	115,469,910株
株主数	16,927名

大株主 (上位10名)

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
NLHD株式会社	26,697,872	25.2
藤澤 信義	14,907,272	14.1
TAIYO HANEI FUND, L.P.	5,100,500	4.8
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	4,153,600	3.9
TAIYO FUND, L.P.	3,806,200	3.6
西京リース株式会社	2,890,000	2.7
ジャパンポケット株式会社	1,780,000	1.7
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,620,967	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,458,500	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,203,900	1.1

所有者別株式分布状況



(注) 持株比率ならびに所有者別株式分布状況は、自己株式数(9,598,538株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで(第44期は2019年4月1日から2019年12月31日まで)
期末配当金受領株主確定日	3月31日(第44期は2019年12月31日)
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3カ月以内に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告とし、当社ウェブサイト(https://www.jt-corp.co.jp/)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

- 【ご注意】
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次いたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。
 - 決算期を3月から12月に変更しました。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをご提供いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先】

証券会社の口座にて株式を管理されている株主様
-----お取引の証券会社にお申し出ください。
証券会社とのお取引がない株主様
-----三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

公式Facebookページを開封!

日本だけでなく、韓国や東南アジアなどのグループ会社の様々な情報をお届けしています。



株主の皆様へ

東南アジア金融事業を再建し、安定した利益を計上する会社を立て直します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年3月期は、東南アジア金融事業と投資事業の営業損失が、それぞれ177億円と205億円となったことが響き、326億円の営業損失となりました。

2019年12月期*の営業利益は、6,100万円と予想しています。日本金融事業と韓国及びモンゴル金融事業は引き続き安定した利益を計上するほか、東南アジア金融事業と投資事業の営業損失は大幅に縮小する見込みです。しかし、M&A費用と裁判費用が一時的な利益押し下げ要因となります。また、業績回復途上にある当社グループには、9カ月決算となることにより2020年1~3月に予想される営業利益を織り込めないことも、利益が伸びない予想となっている理由です。

当面、東南アジア金融事業の再建に注力します。Jトラスト銀行インドネシアはリストラの断行等から営業赤字幅が徐々に減少していき、インドネシアの金融事業は2021年に単月で黒字転換する見込みですが、可能な限り黒字化の前倒しを目指します。また、ANZロイヤルバンク(カンボジア)の買収が完了すれば、当社グループの営業利益を押し上げると期待しています。

2019年12月期の配当金は1株当たり1円の予定です。また、2019年6月以降は株主優待制度を休止します。しかし、安定した利益を計上する会社を立て直してから株主様に還元したいと考えていますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※海外子会社の決算期と統一するため、決算期を3月から12月に変更しました。



代表取締役社長 藤澤 信義

トピックス

農機具ファイナンスの新たなパートナー“PT RUTAN”と業務提携契約を締結

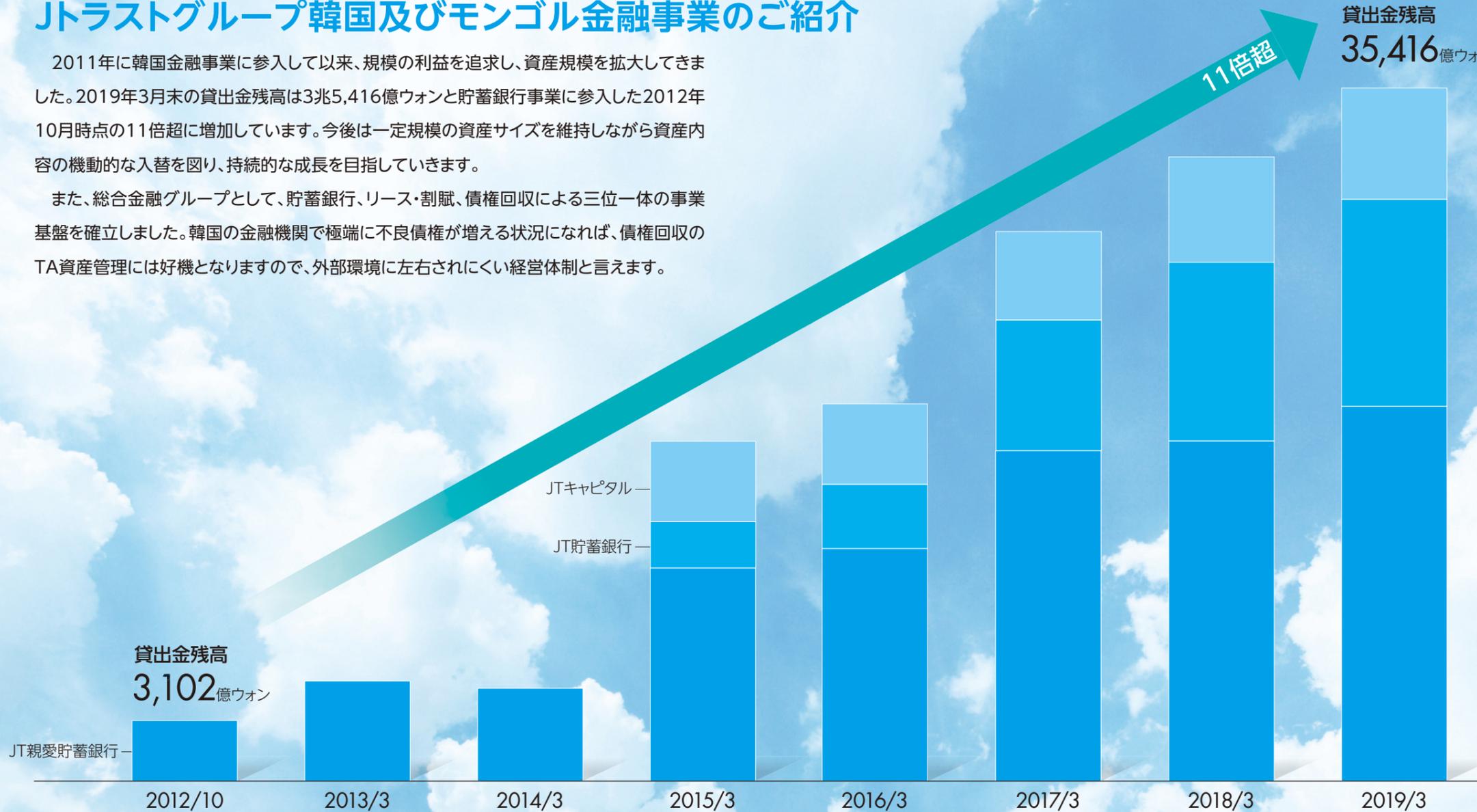
Jトラストオリビンドマルチファイナンス社は、インドネシアで中古車ファイナンスを提供していますが、農機具ファイナンスを2018年8月に開始しました。日本のKUBOTA、YANMAR、韓国のKIOTIといった世界有数の農機具ブランドを取扱うディーラーとの業務提携を進めてきましたが、2019年1月にPT RUTANと新たな業務提携契約を締結したことにより、ISEKIブランドが取扱いブランドのラインナップに加わりました。2019年1月末時点で、上記4ブランドの農機具ディーラーは32社、ディーラーが有するネットワークは48拠点に達しました。インドネシアの主要4島(ジャワ、スマトラ、カリマンタン、スラウェシ)を既にカバーしています。



JTトラストグループ韓国及びモンゴル金融事業のご紹介

2011年に韓国金融事業に参入して以来、規模の利益を追求し、資産規模を拡大してきました。2019年3月末の貸出金残高は3兆5,416億ウォンと貯蓄銀行事業に参入した2012年10月時点の11倍超に増加しています。今後は一定規模の資産サイズを維持しながら資産内容の機動的な入替を図り、持続的な成長を目指していきます。

また、総合金融グループとして、貯蓄銀行、リース・割賦、債権回収による三位一体の事業基盤を確立しました。韓国の金融機関で極端に不良債権が増える状況になれば、債権回収のTA資産管理には好機となりますので、外部環境に左右されにくい経営体制と言えます。



▶ 2011年
消費者金融会社を買収して韓国金融事業に参入

▶ 2012年
破綻した貯蓄銀行を事業譲受して再生

▶ 2014年
消費者金融会社2社を追加買収

▶ 2015年
グローバル金融グループであるスタンダードチャータードから貯蓄銀行とノンバンクを買収

▶ 2016—2019年
M&AからOrganic Growthへ
事業再編と積極的なマーケティングで持続的な成長軌道へ

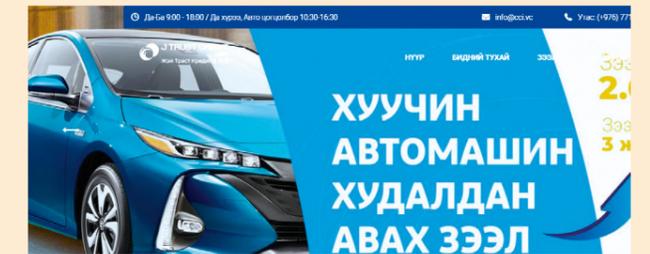
韓国ではファーストブランド大賞を4年連続受賞

JT親愛貯蓄銀行は、韓国消費者フォーラムが主催する「2019大韓民国ファーストブランド大賞」において、貯蓄銀行部門で4年連続の大賞を受賞しました。同賞は、消費者の投票により韓国における業種部門別の満足度を選定する賞であり(今回は約31万人が投票)、貯蓄銀行部門では9行が最終選考に残り、JT親愛貯蓄銀行が最も高い評価を受けました。



モンゴルでは中古自動車ローンを中心としたファイナンスサービスを提供

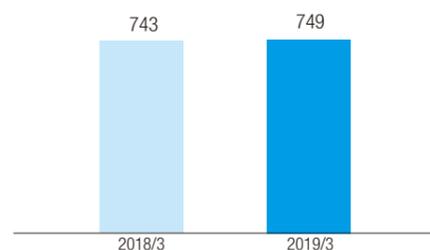
JトラストクレジットNBFは2014年に設立され、2018年に当社グループに入りました。モンゴルでは、一般消費者が乗用車を購入する際には、ローン・割賦を利用することが多いと言われています。こうした状況下、現在は中古自動車ローンに注力しており、リーズナブルな金利でスピーディなファイナンスサービスを提供しています。



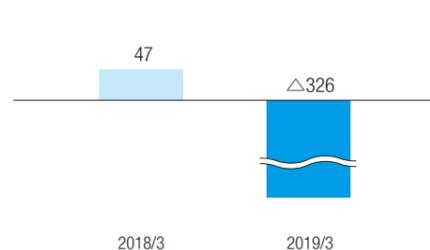
業績ハイライト

営業収益は韓国の貯蓄銀行業における利息収益の増加等から前期比1%増収の749億円。しかし、JTトラスト銀行インドネシアにおける不良債権処理とJTトラストアジアにおける係争中の債権全額についての貸倒引当金繰入から営業費用が大幅に増加し、326億円の営業損失となった。親会社の所有者に帰属する当期損失は非継続事業からの当期損失27億円の計上等から361億円。

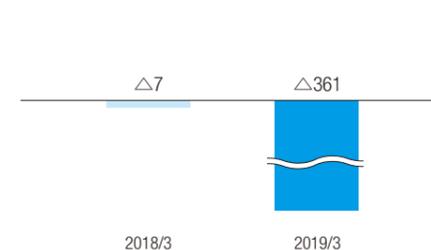
営業収益 (単位: 億円)



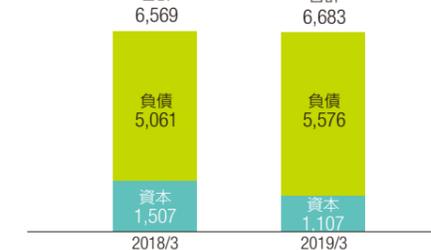
営業損失 (単位: 億円)



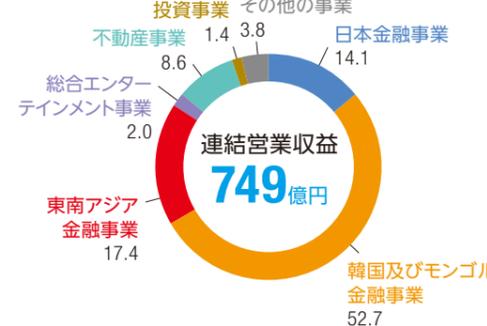
親会社の所有者に帰属する当期損失 (単位: 億円)



負債及び資本合計 (単位: 億円)



営業収益構成比(2019年3月期) (単位: %)



(注) 2019年3月期において、ハイライツ・エンタテインメント(株)を非継続事業に分類しております。そのため、2018年3月期の関連する数値については、組替えて表示しております。